

令和7年 第4回（12月）定例会

つがる市議会会議録

予算特別委員会

令和7年12月 4日開会

令和7年12月 5日閉会

つ が る 市 議 会

令和7年第4回つがる市議会定例会 予算特別委員会会議録目次

第1号（12月4日）

議事日程	1
本日の会議に付した事件	1
出席委員	2
欠席委員	2
地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名	3
職務のため議場に出席した者の職氏名	3
開会、開議宣告	4
委員長の互選	4
副委員長の互選	4
散会の宣告	5

第2号（12月5日）

議事日程	7
本日の会議に付した事件	7
出席委員	8
欠席委員	8
地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名	9
職務のため議場に出席した者の職氏名	9
開議宣告	10
議案第76号の説明、質疑	10
・議案第76号 令和7年度つがる市一般会計補正予算（第5号）案	
議案第77号の説明、質疑	20
・議案第77号 令和7年度つがる市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案	
議案第78号の説明、質疑	23
・議案第78号 令和7年度つがる市介護保険特別会計補正予算（第3号）案	
議案第79号の説明、質疑	24
・議案第79号 令和7年度つがる市下水道事業会計補正予算（第3号）案	
議案第76号～議案第79号の討論、採決	24
・議案第76号 令和7年度つがる市一般会計補正予算（第5号）案	
・議案第77号 令和7年度つがる市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案	
・議案第78号 令和7年度つがる市介護保険特別会計補正予算（第3号）案	
・議案第79号 令和7年度つがる市下水道事業会計補正予算（第3号）案	
閉会の宣告	25
署名	27

第 1 号

令和7年12月4日（木曜日）

令和7年第4回つがる市議会定例会予算特別委員会会議録

議事日程（第1号）

令和7年12月4日（木曜日）午前10時48分開会、開議

1 開会、開議宣告

1 議事日程

正副委員長互選

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

出席委員（18名）

1番	平田浩介	2番	三橋あさみ	3番	山内勝
4番	秋田谷建幸	5番	齊藤渡	6番	田中透
7番	佐々木敬藏	8番	長谷川榮子	9番	成田博
10番	木村良博	11番	佐藤孝志	12番	野呂司
13番	天坂昭市	14番	成田克子	15番	佐々木慶和
16番	平川豊	17番	山本清秋	18番	高橋作藏

欠席委員（0名）

なし

地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名

市 長	倉 光 弘 昭
副 市 長	今 正 行
教 育 長	山 谷 光 寛
選挙管理委員会委員長	成 田 照 男
農業委員会会長	藤 本 正 彦
監 査 委 員	台丸谷 績
総 務 部 長	高 橋 一 也
財 政 部 長	平 田 光 世
民 生 部 長	高 橋 勉
健康福祉部長	島 田 安 子
経 済 部 長	三 上 恒 寛
建 設 部 長	高 橋 隆 治
会 計 管 理 者	粕 谷 竜 一
教 育 部 長	鳴 海 義 仁
消 防 長	工 藤 康 人
選挙管理委員会事務局長	中 田 良 子
農業委員会事務局長	中 野 拓 哉
監査委員事務局長	秋 田 俊
総 務 課 長	葛 西 正 美
財 政 課 長	葛 西 明 仁
市 民 課 長	川 越 七 重
福 祉 課 長	宮 西 良 和
農林水産課長	佐々木 雅 規
土 木 課 長	長 内 研 也
教育総務課長	小田桐 勇 人
消防本部総務課長	工 藤 真 史

職務のため議場に出席した者の職氏名

事 務 局 長	山 口 淳 志
議事総務課長	工 藤 隆 子
議事総務課長補佐	福 士 寿 幸
主 査	成 田 耕 太

◎開会、開議宣告

- 臨時委員長（長谷川榮子君） 委員長が決定するまでの間、臨時に委員長の職務を行います。
ただいまの出席委員数は18名です。定足数に達しておりますので、予算特別委員会を開会します。
(午前10時48分)
-

◎委員長の互選

- 臨時委員長（長谷川榮子君） 直ちに委員長の互選を行います。
互選の方法は、指名推選とし、私から指名したいと思いますが、ご異議ありませんか。
〔「異議なし」と言う人あり〕
- 臨時委員長（長谷川榮子君） ご異議なしと認め、私から指名します。委員長に秋田谷建幸委員を指名します。
ただいまの指名にご異議ありませんか。
〔「異議なし」と言う人あり〕
- 臨時委員長（長谷川榮子君） ご異議なしと認め、委員長に秋田谷建幸委員が当選しました。
ただいま当選しました秋田谷建幸委員が議場におられますので、会議規則第32条第2項の規定により当選を告知します。
ここで委員長と交代します。
〔委員長交代〕
- 委員長（秋田谷建幸君） おはようございます。
一言、ご挨拶申し上げます。
皆様より、委員長の要職に推挙賜り、職責の重大さを痛感しているものであります。予算審査期間中、委員ならびに理事者のご協力を仰ぎましてこの重責を全うし、議会の負託に応えたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。
-

◎副委員長の互選

- 委員長（秋田谷建幸君） これより副委員長の互選を行います。
互選の方法は、指名推選とし、私から指名したいと思いますが、ご異議ありませんか。
〔「異議なし」と言う人あり〕
- 委員長（秋田谷建幸君） ご異議なしと認め、私から指名します。副委員長に成田博委員を指名します。
ただいまの指名にご異議ありませんか。
〔「異議なし」と言う人あり〕

○委員長（秋田谷建幸君） ご異議なしと認め、副委員長に成田博委員が当選しました。

ただいま当選した成田博委員が議場におられますので、会議規則第32条第2項の規定により当選を告知します。

◎散会の宣告

○委員長（秋田谷建幸君） 付託された議案の審査は、明日、12月5日、金曜日、午前10時から行います。

本日はこれにて散会します。

（午前10時52分）

第 2 号

令和7年12月5日（金曜日）

令和7年第4回つがる市議会定例会予算特別委員会会議録

議事日程（第2号）

令和7年12月5日（金曜日）午前10時00分開議

1 開議宣告

1 議事日程

議案第76号 令和7年度つがる市一般会計補正予算（第5号）案

議案第77号 令和7年度つがる市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案

議案第78号 令和7年度つがる市介護保険特別会計補正予算（第3号）案

議案第79号 令和7年度つがる市下水道事業会計補正予算（第3号）案

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

出席委員（18名）

1番	平田浩介	2番	三橋あさみ	3番	山内勝
4番	秋田谷建幸	5番	齊藤渡	6番	田中透
7番	佐々木敬藏	8番	長谷川榮子	9番	成田博
10番	木村良博	11番	佐藤孝志	12番	野呂司
13番	天坂昭市	14番	成田克子	15番	佐々木慶和
16番	平川豊	17番	山本清秋	18番	高橋作藏

欠席委員（なし）

地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名

市 長	倉 光 弘 昭
副 市 長	今 正 行
教 育 長	山 谷 光 寛
選挙管理委員会委員長	成 田 照 男
農業委員会会長	藤 本 正 彦
監 査 委 員	台丸谷 績
総 務 部 長	高 橋 一 也
財 政 部 長	平 田 光 世
民 生 部 長	高 橋 勉
健康福祉部長	島 田 安 子
経 済 部 長	三 上 恒 寛
建 設 部 長	高 橋 隆 治
会 計 管 理 者	粕 谷 竜 一
教 育 部 長	鳴 海 義 仁
消 防 長	工 藤 康 人
選挙管理委員会事務局長	中 田 良 子
農業委員会事務局長	中 野 拓 哉
監査委員事務局長	秋 田 俊
総 務 課 長	葛 西 正 美
財 政 課 長	葛 西 明 仁
福 祉 課 長	宮 西 良 和
農林水産課長	佐々木 雅 規
土 木 課 長	長 内 研 也
教育総務課長	小田桐 勇 人
消防本部総務課長	工 藤 真 史
国保年金課長	片 山 勉

職務のため議場に出席した者の職氏名

事 務 局 長	山 口 淳 志
議事総務課長	工 藤 隆 子
議事総務課長補佐	福 士 寿 幸
主 査	成 田 耕 太

◎開議宣告

○委員長（秋田谷建幸君） おはようございます。ただいまの出席委員数は18名です。定足数に達していますので、これより本日の会議を開きます。

（午前10時00分）

◎議案第76号の説明、質疑

○委員長（秋田谷建幸君） 本委員会に付託された案件は、議案第76号から議案第79号までの計4件です。

説明員については、タブレットに配信した名簿のとおりであります。

審査の方法は議案ごとに質疑を行い、質疑終了後、一括して討論採決とします。

これより議案の質疑を行います。

議案第76号 令和7年度つがる市一般会計補正予算（第5号）案を議題とします。

説明を求めます。

葛西財政課長。

○財政課長（葛西明仁君） 改めましておはようございます。議案第76号 令和7年度つがる市一般会計補正予算（第5号）案についてご説明いたします。

今回の補正は第1条において、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億6,329万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ258億9,160万4,000円とするものでございます。

また、第2条においては、繰越明許費を設定し、第3条におきましては6件の債務負担行為の追加を定めてございます。第4条におきましては、地方債の追加を定めております。

本補正予算の主なものは、当初予算では見込めなかった経費、燃料費、電気料金等の高騰に係る経費の増額及び同じく影響を受ける指定管理料の増額などが主なものとなっております。

それでは歳出から主な事業についてご説明いたします。13ページをお開きください。

2款1項6目、企画費、移住者マイホーム応援事業補助金につきましては、当初想定していた申込者数を超え、今後も補助申請の見込みがあることから180万円を追加計上してございます。

次に15ページをお開きください。

3款1項2目、高齢者福祉費の【5】養護老人ホーム費、ぎんなん荘施設指定管理料につきましては、入所者数の減少により、指定管理料の収入、経費とも減少することから事業費を精査し982万4,000円を追加計上してございます。

次に18ページをお開きください。

6款1項3目、農業振興費、【8】有害鳥獣対策費、鳥獣被害対策実施隊報酬及び費用弁償につきましては、熊の出没対策として合計23万1,000円を追加計上してございます。

次に20ページをお開きください。

8款2項4目、除雪対策費の備品購入費、除雪機械3,800万円につきましては、老朽化した小型ロータリー車を更新するものでございます。

次に22ページをお開きください。

10款5項3目、公民館費の牛潟公民館及び車力柔剣道場費の施設指定管理料、6項2目、学校給食センター費の森田学校給食センター及び車力学校給食センター、そして6項3目、保健体育施設管理費の稲垣体育館施設指定管理料につきましては、それぞれの施設の燃料費、電気料金等の高騰による影響額について計上したものでございます。

12款、予備費ですが2,000万円を計上してございます。予備費につきましては、これまで宿泊施設の源泉ポンプの故障や学校施設、給食施設、その他の施設の設備の故障など、突発的かつ緊急性のある支出に使用してまいりましたが、今後、冬季間の行政運営に支障がないよう今回の補正予算に追加計上したものでございます。

歳出については以上です。

次に、歳入についてご説明いたします。10ページをお開きください。

歳入につきましては、ほとんどが歳出の3款民生費及び4款衛生費の扶助費等の財源に係るものでございます。

12ページをお開きください。

19款2項、基金繰入金、財政調整基金繰入金として9,380万4,000円を繰入れし、財源調整を行ったものでございます。

説明は以上となります。ご審議のほどよろしく願いいたします。

○委員長（秋田谷建幸君） 説明が終わりました。

これより歳入歳出全般について質疑を行います。なお、質疑の際はページと項目を示してください。

佐々木敬藏委員。

○7番（佐々木敬藏君） 7番佐々木です。

5ページの繰越明許費、22款1項6目、除雪機械購入による補正予算3,800万円計上し繰越明許するというのですが、今年度中に購入できなかった要因があるのか伺いたしたいと思います。

○委員長（秋田谷建幸君） 土木課長。

○土木課長（長内研也君） お答えします。

今回の除雪機械購入は、柏地区の小型ロータリーでございます。平成10年度導入から27年経過しており、老朽化による故障が多くなっております。この機械、令和8年度更新予定でございましたが、車両の納入に10か月程度要するというので、次年度の除雪シーズンに間に合うように、今回、補正及び翌年度への予算繰越を要望するものでございます。

以上です。

○委員長（秋田谷建幸君） ほかにありませんか。

成田克子委員。

○14番（成田克子君） 15ページ。

ぎんなん荘についてですが、ぎんなん荘については、入居者数の減少、施設の老朽化や物価に伴う維持管理費の高騰などを理由に、令和8年度をもって廃止することになってございますが、現在、施設に入居されている方の人数、廃止に伴う他の施設への受け入れは進んでいるのか。また、施設の解体の計画についてもお伺いいたします。お願いします。

○委員長（秋田谷建幸君） 健康福祉部長。

○健康福祉部長（島田安子君） 成田委員の質問にお答えします。

ぎんなん荘の入所者につきましては、11月末時点で、本市の措置者が4名、他市町村からの措置者が3名の計7名の方が入所しております。他施設への受け入れの状況でございますが、こちらも11月末時点で、本市の措置者9名の方が市外の養護老人ホームへ移動となっております。内訳は、弘前市内に6名、青森市、黒石市、五所川原市にそれぞれ1名となっております。なお、廃止後の施設の取り扱いにつきましては、利活用、解体を含め現在のところ未定となっております。

以上です。

〔「ありがとうございました」と言う人あり〕

○委員長（秋田谷建幸君） ほかにありませんか。

田中透委員。

○6番（田中 透君） ページ数は22ページ。保健体育施設管理費、稲垣体育館指定管理料のところですが、体育館については、今まで機会あるごとにいろいろ議論されてきましたけれども、この稲垣体育館についても令和8年度をもって廃止されることとなっております。今現在、この体育館も含めて総合体育館、学校開放事業で児童生徒や各団体の使用状況、うまくいっているのかどうか。そしてまた、稲垣、柏体育館が廃止しても当初の計画どおり大丈夫なのか再確認の意味で伺いたいと思います。

○委員長（秋田谷建幸君） 教育部長。

○教育部長（鳴海義仁君） 市内体育施設の利用状況につきましては、今年4月から学校開放事業の対象校を10校に拡大し、児童生徒のみならず大人の団体も利用しており、体育施設は順調に利用されております。ご指摘の稲垣体育館、柏総合体育センターにつきましては、令和4年度に策定したつがる市体育施設総合活用計画に基づき、令和8年度末までの施設利用としております。しかしながら現在進めている中学校の地域クラブ化による利用状況を考慮し、計画の見直しが必要かどうかを検討する体育施設総合活用検討委員会を開催することを考えております。

以上です。

○委員長（秋田谷建幸君） 田中透委員。

○6番（田中 透君） 検討委員会を開催するというので、今ご答弁ありましたけれども、現状部活からクラブ化へ今移行なっております。本当にこれは様々な課題が山積みしていることと思います。来年の国スポ開催で大変かと思えますけれども、どうかこの検討委員会の中でも早急に子どもたちのスポーツに対する情熱をお察しいただきまして、早めにご検討よろしくお願ひしたいと思ひます。

答弁いいです。

○委員長（秋田谷建幸君） ほかにありませんか。

長谷川榮子委員。

○8番（長谷川榮子委員） おはようございます。

11ページの下段、ふるさと納税について伺ひます。

今回、企業版ふるさと納税寄附金の補正をしておりますが、ふるさと納税については、年々増加傾向にあり、昨年度2億円を突破し、今年度の補正額を見ますと2億8,000万余りでございますけれども、昨年度より更に増加しているようですが、まだちょっと気が早いかわかりませんが、関連して、個人のふるさと納税寄附金は、今年は何のくらいを想定してますか。

○委員長（秋田谷建幸君） 総務課長。

○総務課長（葛西正美君） 改めましておはようございます。

ただいまの長谷川委員のご質問にお答ひします。

今年度のふるさと納税の寄附金の見込みということですが、9月末のポイント制度廃止前に駆け込みの寄附により一時的に伸びましたが、その後ちょっと減少傾向にあります。ただし、12月は本市の主力商品である、リンゴが大変伸びる時期でもありますので、令和6年度の実績が2億1,848万7,000円、それに近い額にはなるのではないかと見込んでおります。

以上です。

○委員長（秋田谷建幸君） 長谷川榮子委員。

○8番（長谷川榮子君） ふるさと納税、私が五所川原に負けたくない。頑張っで欲しいと予算委員会で発言したのを今ちょっと思い出しました。その当時は3,000万、4,000万、いってなかったような気がします。その当時から比べると課長随分頑張りましたね。すごいです。市長、こういうふう頑張ってる部署は特別褒めてあげてください。すごいと思ひます。

ただ、今度ポイントがなくなるというふう聞いてますけれども、その影響はあるんでしょうか。

○特別委員長（秋田谷建幸君） 総務課長。

○総務課長（葛西正美君） ポイントの廃止の影響はあるのかとのご質問ですが、先ほど駆け込みがあったという点では影響はございました。委員が心配されているのは、ポイント廃止の影響により寄附が減ることを心配していることだと推測しております。ご質問の影響につきましては、制度廃

止から期間がまだ短く寄附額が大きく減少したといった明確な影響は現時点で確認されておりません。ただ、ポイント制度廃止が一定の影響を持つ可能性はあるものの、ふるさと納税そのものの魅力である税の控除や返礼品をいただける仕組みなどが維持されていることから、現時点では寄附行動が大きく減少するとは見込んでおりません。ただ、今後も寄附の動向を注視しながら、返礼品や情報発信の質を高めることで、ポイントに依存しない安定的な収入確保を図っていくというのが考えでございます。

以上です。

○委員長（秋田谷建幸君） 長谷川榮子委員。

○8番（長谷川榮子君） 去年から米がばか高値ですけれども、つがる市は米が一番だと思いますけれど、返礼品で一番人気は何か。米は以前から比べると増えているものかどうか教えてください。

○委員長（秋田谷建幸君） 総務課長。

○総務課長（葛西正美君） 返礼品のまずお米についてお答えしたいと思います。

米につきましては、令和5年度で900万ほどであったのが、6年度の実績では2,600万ほどに伸びております。7年度11月末では、ただいまのところ2,150万程度ということなので、今後の伸びによってはそれを上回る可能性もございます。一番の人气がですね、リンゴについてです。リンゴは昨年度の実績で6,900万程度です。現在4,200万ほどに達しておりますので、12月が伸びる時期ですので昨年並み、それ以上に伸びるのではないかと考えております。

以上です。

○委員長（秋田谷建幸君） 長谷川榮子委員。

○8番（長谷川榮子君） へえ、米すごいですね。前は、ナンバーワンは黒にんにくだったと記憶してますけれど、特産のリンゴがトップに躍り出たというのは、やっぱり世の中の傾向でしょうか。リンゴが今年ばか高いんですよ。すごいです。森田の道の駅に行ったらサンふじが1万9,800円で、送ろうかなと思ってあんまり高かったんでやめました。私のところに今くる、お歳暮の大半が、遠くの方にめいっ子、おいっ子がいるもんでふるさと納税で最近ミカンが送られてきます。お礼の電話を入れると、おばちゃん開けてみて、腐ったもの入ってないか、ふるさと納税で送ったんでちゃんと確かめで、もし悪いもの入ってたら教えてという電話があるんです。リンゴも生ものですので、送られてクレームというのがありませんか。

○委員長（秋田谷建幸君） 総務課長。

○総務課長（葛西正美君） 返礼品が届いたときに、そういった何かトラブルがなかったということですが、リンゴについては、到着したときに潰れていたという件数が1件か2件ありました。その際の対応としては、すぐ連絡をして、状況、変な話、どこに過失があるかも一応確認しておりますので、一応写真とかあれば送っていただいて、特定できない場合はすぐこちらから新しいものを送るという対応を取ってございます。

以上です。

○委員長（秋田谷建幸君） 長谷川榮子委員。

○8番（長谷川榮子君） せっかくふるさと納税伸びておりますので、悪い物がいくと、1回信用を失うと、それを取り戻すのが容易でないと思いますので、その辺十分気をつけてお願いしたいと思います。それからやじ馬根性で聞くんですけど、今この、ふるさと納税は競争が激しいです。青森県内で一番ふるさと納税で頑張っているところはどこなんでしょうか。わかってたら教えてください。

○委員長（秋田谷建幸君） 総務課長。

○総務課長（葛西正美君） ただいまの県内の状況でございますが、これは国で公表したデータからのもので、一番寄附が多かったのが6年度は青森市でございます。15億7,300万程度。続いて弘前市14億5,000万程度で、3番が五所川原市で10億5,000万切れるぐらいです。

以上です。

○委員長（秋田谷建幸君） 長谷川榮子委員。

○8番（長谷川榮子君） すごいですね、弘前や青森と肩を並べるというつもりは全くありませんけれども、うちの方も大変頑張っていることに敬意を表したいと思います。それじゃもう1つ、全国で一番稼いでいる自治体はわかりますか。わかったら教えてください。

○委員長（秋田谷建幸君） 総務課長。

○総務課長（葛西正美君） ただいまの全国の状況でございますが、国の公表したデータでいきますと、北海道の白糠町で211億6,500万。次が大阪府の泉佐野市181億5,000万程度で、その次が宮崎県都城市、ここが176億9,000万で、次が北海道の別海町173億5,000万。

以上です。

○委員長（秋田谷建幸君） 長谷川榮子委員。

○8番（長谷川榮子君） すごいね。北海道の別海町なんて人間よりも牛の多いところなんですけれども、すごいなと思いますが、多分海産物、北海道は海産物が豊富なんで人気なんでしょう。でも課長、これからも期待しますので頑張ってください。ありがとうございました。

○委員長（秋田谷建幸君） ほかにありませんか。

三橋あさみ委員。

○2番（三橋あさみ君） 三橋ですよろしく申し上げます。よろしく申し上げます。

私の方からは2点について質問をさせていただきたいと思います。

まず16ページ、3款1項7目障害者福祉費で、障害児通所給付費について伺います。この障害児通所費の支援ということで、児童発達支援、あと放課後等デイサービスや在宅訪問型児童発達支援、保育所等訪問支援などありますけれども、補正した事業の状況について伺います。

○委員長（秋田谷建幸君） 福祉課長。

○福祉課長（宮西良和君） おはようございます。今、三橋あさみ委員の方からご質問いただきましたことに対してお答えいたします。

まず、障害児通所給付費を増額した理由に関しては、障害児通所支援サービスの種類のうち、主に放課後等デイサービスの支援給付を受ける児童数が当初の見込みより増えたことによるものとなっております。ご質問にありました事業の状況ですが、現在本市では3つの障害児サービスを提供しております。障害児通所支援サービスの種類ごとに、令和6年度に支給決定を受けた児童の実人数と、令和7年度、今回補正で見込みました児童数でお答えいたします。

今回補正の主な要因となった利用対象を小学生以上の児童とした放課後等デイサービスでは、令和6年度支給決定を受けた実人数は58人。令和7年度中、支給認定を受けると見込んだ人数は70人。前年度と比較して約2割増しの12人の増を見込んでおります。次に、利用対象を小学校就学前の児童とした児童発達支援では、令和6年度の実人数28人に対して、令和7年度見込み人数32人、前年度と比較して4人の増。また、全ての児童を対象とした保育所等訪問支援事業では、令和6年度の実人数31人に対して、令和7年度の見込み人数34人、前年度と比較して3人の増をそれぞれ見込んでございます。

説明は以上です。

○委員長（秋田谷建幸君） 三橋あさみ委員。

○2番（三橋あさみ君） ありがとうございます。引き続き、もう1つ質問させていただきます。

17ページ、未熟児等医療費給付費について伺います。

前年度の実績を見れば少ない額となっているようなのですけれども、全体の出生に占める未熟児の出生数は多い傾向にあるのか。わかる範囲で結構ですので教えていただきたいです。

○委員長（秋田谷建幸君） 健康福祉部長。

○健康福祉部長（島田安子君） ただいまの三橋委員の質問にお答えします。

本市の令和2年度から6年度の出生数に占める未熟児の割合は平均しておおよそ3.8%、人数にすると3.8人となりますが、その数値が多い傾向かどうかという判断は難しいのが現状にあります。また、実績額につきましても、人数と医療費助成額が比例するものというわけではなく、お子さんの状態によって助成の期間、助成額が異なっております。

以上です。

○委員長（秋田谷建幸君） ほかにありませんか。

平田浩介委員。

○1番（平田浩介君） ページは13ページ、2款1項6目企画費、移住者マイホーム応援事業補助金でございます。

補助金の増額補正ということで、本市への移住希望者が当初見込みより増加している結果だと推察されますが、移住者数の状況について教えていただきたいと思っております。

○委員長（秋田谷建幸君） 総務課長。

○総務課長（葛西正美君） ただいまの平田委員のご質問にお答えします。

移住者の状況ですが、移住者マイホーム応援事業補助金は、本市へ移住しマイホームを取得する世帯に補助するもので、今年度ここまで、この制度を活用し移住した世帯は13世帯で移住者は38名となっております。

以上です。

○委員長（秋田谷建幸君） 平田浩介委員。

○1番（平田浩介君） ありがとうございます。

この移住者の皆さんですが、どちらの方からいらっしゃったのか、わかるのであれば教えていただきたいと思います。

○委員長（秋田谷建幸君） 総務課長。

○総務課長（葛西正美君） ただいまのご質問のどこからの移住者かということですが、7年度38人の内訳としましては、五所川原市が19人、六ヶ所村4人、八戸市5人、中泊町2人、板柳町2人、東京都から1人、神奈川県から1人、合計38人となっております。

以上です。

○委員長（秋田谷建幸君） 平田浩介委員。

○1番（平田浩介君） ありがとうございます。つがる市、とてもいいところなので、移住者がどんどん増えるようにこれからもよろしく願いいたします。

答弁はいいです。

○委員長（秋田谷建幸君） ほかにありませんか。

長谷川榮子委員。

○8番（長谷川榮子君） すいません、もう1回お願いします。

19ページ真ん中辺の商工費のところお願いします。

2030年という、もう間もなくのことですよ。2030年度に洋上風力発電所事業が開業されることに伴い、企業の進出が見込まれると思いますけれども、先般、石狩市の洋上風力発電所に伴う企業誘致について視察してまいりました。本市も絶好の機会、二度とない絶好の機会だと思いますけれども、本市の取り組み状況はどのようになっていますか、詳細にお知らせいただきたいと思います。

○委員長（秋田谷建幸君） 経済部長。

○経済部長（三上恒寛君） おはようございます。

本市では、これまで既存の廃校や市有地への企業誘致を推進したところでございますが、全国的に企業誘致を取り巻く地域間競争が激しさを増してございます。洋上風力発電の運転開始を2030年6月に控えまして、関連企業を誘致する絶好の機会でありますので、地域の強みを生かした産業団地を整備するなど、企業が立地しやすい環境を整えることも必要だと考えてございます。そして現

在、産業団地の整備について検討を進めているところでございます。

以上です。

○委員長（秋田谷建幸君） 長谷川榮子委員。

○8番（長谷川榮子君） 私たちが石狩に視察に行っているときに、秋田が、三菱が撤去するというニュースが飛び込んできました、すぐに私たちのつがる市の、この洋上風力発電所大丈夫かなあとみんながざわつきました。あれは三菱1社だけだったようですけども、本市に来る洋上風力発電所というのは、東京電力、中部電力、それに東北電力の3社が来るんだそうで、日本を代表するこの電力会社3社でございますので、まさかというまさかは、ここではないと思います。絶対信頼していいと思いますので、自信をもって二度とないチャンスです。100年に1度来るか来ないか、多分、今を逃しては、そのチャンスは絶対ないと思います。今、部長が産業団地を整備するなどというふうにおっしゃっていただきましたけれども、もうそれらの事業に着手というか、手をつけてるというか、どのぐらい進みますか。

○委員長（秋田谷建幸君） 経済部長。

○経済部長（三上恒寛君） 陸上及び洋上等の電力につきましては、つがる市は一大供給地であるということから、この再エネ電力を、地産地消を大きな強みとして、企業誘致に非常に有効だと考えております。

現在国では、有望地域を選定して、規制制度改革と支援策を一体で措置するGX戦略地域制度を創設する動きがございます。今後、これに公募された際には、県と連携して脱炭素電源を活用した産業団地の整備について応募したいと考えております。

○委員長（秋田谷建幸君） 長谷川榮子委員。

○8番（長谷川榮子君） 今、部長から県と連携するという答弁でございましたけれど、市長、新聞報道などによりますと、宮下知事は非常に私たちのつがる市に好意的だなあとというふうに私は感じてます。また、市長と似たような感じの知事だなあと私は思ってます。うちの方の市長も、積極的に活発で、物事に対してはものすごく情熱的だと普段から感心してるんですが、そこのところは何か宮下知事と合致する部分があると思います。その知事が、つがる市は特区に入るから、ぜひ県でも協力するというそういうコメントがあるような感じでございますので、市長、これ逃せば二度とないんです。早く、早くその団地整備などに手をつけて万全を期して、我々議会も全力で支えていきたいと思っておりますので、市長、今一番の頑張りどきです。よろしくお願ひします。答弁お願ひします。

○委員長（秋田谷建幸君） 倉光市長。

○市長（倉光弘昭君） 今、洋上風力でございますけども、ずっと申し上げてきたとおり、もう二度と来ないだろうと。このチャンスは逃せないということで、まずは地元でこの洋上風力が来れば何が、何をどうすれば地元で、まずはね、地元で何をどうすれば地元で金が落ちるかということは今、

市役所も商工会も、それから建設業協会も含めて考えているところであります。加えて、議員の皆さんが石狩の方に視察に行ったようでございますけども、厳密に言えば、あそこは港湾の洋上風力ですので、私らの一般海域とはちょっと違うところもあるんですが、それにしても洋上風力の風力が建てば何が来るかというのを石狩でしっかり見てきたと思いますけども、ここについては、洋上風力が稼働するまで、あるいは稼働した後、どうやって国と県を巻き込みながら産業団地も含めて、スピード感を持ってやりたいと思っています。このことについては、知事とも公式ではないですけど、2人で会う場面があれば、話をしていますので、県は県で国のGXの事業に、県から何か所か選定して手を挙げていますが、その中の1つにつがる市も入っているということでございますので、長谷川委員おっしゃったようにですね、このチャンスを逃さないように、スピード感を持って進めていきたいとそう思っているところであります。

以上であります。

○委員長（秋田谷建幸君） 長谷川榮子委員。

○8番（長谷川榮子君） 皆さん長生きしましょう。少子高齢化が進んで、つがる市どうなるのかわかっていつもそう思ってるんですけども、この洋上風力発電所のお話が出て、何か光が差したようなそんな気がします。大きく期待をしますので、市長、体に十分気をつけて全力でこれに取り組んでくださるように重ねてお願いします。よろしくをお願いします。

○委員長（秋田谷建幸君） ほかにありませんか。

山内勝委員。

○3番（山内 勝君） おはようございます。

私の方から、18ページ、6款1項3目農業振興費、有害鳥獣対策事業費でございます。

これ全国で熊による人的被害の深刻化を受けまして、政府改訂版の被害対策パッケージを公表し、被害の抑止を急ぐとしておりますが、かつて保護に軸足を置いてきた熊を駆除対象というふうな位置づけることで、体制の整備を加速させるという狙いがあると思います。このパッケージというのは、狩猟免許を持った人を公務員として任用するガバメントハンターの確保というか育成、元警察官や元自衛官への狩猟免許の取得促進といった施策が盛り込まれたということではありますが、本市の熊対応の状況を詳しくお知らせください。

○委員長（秋田谷建幸君） 農林水産課長。

○農林水産課長（佐々木雅規君） 本市の熊対応の現状についてお答えいたします。

東北地方を中心に各地で熊の出没情報や人身被害が相次いでおり、本市におきましても、熊の痕跡や目撃情報などが寄せられております。本市の対応といたしましては、目撃情報が寄せられますと、まずその情報を確認し、防災行政用無線及び市公式LINEを通じて、市民に注意喚起を促すとともに現場に向かっております。また、小中学校の通学等に関係する場合は教育委員会に連絡するなど、関係する各機関にも連絡してしております。現場では、熊の足跡やふんなどの痕跡が確認され

た場合は箱わなを設置し、その後もパトロールや箱わなの状況を確認するなど巡回しております。また、猟友会の方々には、目撃情報が寄せられた周辺や箱わなを設置した箇所を巡回してもらい、緊急時にも対応していただいております。現在は緊急銃猟に備え、緊急銃猟マニュアルを作成中であり、引き続き関係機関と連絡を密にし対応してまいります。

以上です。

○委員長（秋田谷建幸君） 山内勝委員。

○3番（山内 勝君） ありがとうございます。

詳細な内容を把握しました。もう1つよろしいでしょうか。

○委員長（秋田谷建幸君） はいどうぞ。

○3番（山内 勝君） ページ数は19ページ、6款1項10目農業施設管理費でございます。

柏ロマン荘の施設指定管理ですが、管理料の増額をした内容をお伺いいたします。

○委員長（秋田谷建幸君） 農林水産課長。

○農林水産課長（佐々木雅規君） お答えいたします。

今回の施設指定管理料の増額した理由ですが、柏ロマン荘の温泉が8月初旬からの修繕工事により利用できない状態が続いております。それに伴い、宿泊等のキャンセルが相次ぎ、売り上げが大幅に減少していることから指定管理料を増額するものであります。

以上です。

○委員長（秋田谷建幸君） 山内勝委員。

○3番（山内 勝君） それでですね、修繕の内容というのはどのようになっているのでしょうか。

○委員長（秋田谷建幸君） 農林水産課長。

○農林水産課長（佐々木雅規君） お答えいたします。

修繕につきましては、7月ごろより源泉からくみ上げている温泉の温度が低下しており、その原因究明と改善に向けての修繕を実施しているところであります。

以上です。

○委員長（秋田谷建幸君） ほかにありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（秋田谷建幸君） ないようですので、議案第76号の質疑を終わります。

◎議案第77号の説明、質疑

○委員長（秋田谷建幸君） 議案第77号 令和7年度つがる市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案を議題とします。

説明を求めます。

国保年金課長。

○国保年金課長（片山 勉君） 改めましておはようございます。

それでは、議案第77号 令和7年度つがる市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案についてご説明申し上げます。

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2万2,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ42億7,527万7,000円とするものでございます。

初めに歳出からご説明いたします。7ページをお開き願います。

1款1項1目一般管理費は4,000円を増額してございます。

これは公用車のオイル交換費用が値上がりしたものによるものでございます。また、資格確認書の一斉更新に係る委託料につきまして、社会保障税番号制度システム整備等補助金の交付の決定が決まりましたので、財源を調整、変更しております。

次に2款保険給付費、1項2目一般被保険者療養費は238万8,000円を増額しております。

これは当初の想定より高額な給付が発生したことにより増額補正するものでございます。

次に3款国民健康保険事業納付金は、財源に充てておりました特別交付金が実績報告により減少となったため財源を変更しております。

次に6款1項1目基金積立金は598万4,000円を減額しております。

これは歳入歳出の収支均衡を図るため積立額を減額し調整したものでございます。

次に7款諸支出金、1項2目償還金251万4,000円を増額でございますが、こちらは令和6年度県補助金の実績報告に伴いまして補助金が確定し、返還が生じるため増額するものでございます。

次に8ページをお開きください。

7款2項2目直営診療施設勘定繰出金は110万円を増額しております。

こちらはつがる市民診療所で設置した機器について、特別交付金の保険事業分上限110万円となるものでございますが、こちらが交付決定されたことによる増額補正になります。

続きまして、歳入についてご説明いたします。6ページへお戻りください。

3款1項2目社会保障番号税番号制度システム整備費等補助金は12万2,000円を増額しております。

先ほど歳出でもご説明いたしますとおり、資格確認書等の一斉交付にかかりまして、補助金の費用の交付の決定を受けたことにより増額補正するものでございます。

次に4款県支出金、1項1目保険給付費等交付金は1万8,000円を増額しております。

こちらは青森県保険給付費等交付金において、交付決定を受けて増額したものでございます。内訳としましては、保険者努力支援制度分として108万2,000円が減額。先ほどご説明しました市民診療所への機器の設置の交付として110万円の増額、合わせて1万8,000円の増額となっております。

次に6款1項1目一般会計繰入金は11万8,000円を減額しております。

これは交付決定を受けた補助金等の財源を充当することなどにより11万8,000円を減額補正するものでございます。

以上で説明は終わりとなります。

ご審議のほどよろしくお願ひいたします。

○委員長（秋田谷建幸君） 説明が終わりました。

これより歳入歳出全般について質疑を行います。

成田博委員。

○9番（成田 博君） 7ページ、1款1項ですけれども、国保の会計ということで、保険証について関連でお伺いをいたします。

本年12月1日で、従来の健康保険証全て有効期限が切れるということでございますけれども、マイナ保険証と資格確認書での対応とされておりますけれども、厚生労働省で混乱を避けるため、来年3月まで加入者にかかわらず有効期限の切れた保険証でも条件つきではあるけれども、利用できるという話も聞いておりますけれども、そのところご答弁をお願いします。

○委員長（秋田谷建幸君） 国保年金課長。

○国保年金課長（片山 勉君） 成田委員のご質問にお答えします。

委員おっしゃるとおりですね、医療機関に対応していただければ期限切れの保険証でもこれまでどおりの窓口負担で受診することができます。ただし、これはですね、有効期限に気づかないまま、従来の保険証を持参してですね、医療機関を受診された場合に、会員の方に対して、その場ですぐ10割負担を求めるといことがないように暫定的な運用となっております。これは基本的に医療機関に対しての通知ということになっております。青森県の中の国保に関しましては、もうすでに今年の7月に切れており、現状としてはマイナ保険証もしくは資格確認書での受診をしていただくようにしております。またなくした場合はですね、速やかに再交付、郵送等窓口に来ていただいた場合も含め対応しております。

以上になります。

○委員長（秋田谷建幸君） 成田博委員。

○9番（成田 博君） 本市のマイナ保険証、これと利用状況はどうなっているのかわかれば教えてください。

○委員長（秋田谷建幸君） 国保年金課長。

○国保年金課長（片山 勉君） 本市の国保のですね、保険証のですね利用状況、こちらの方についてご説明いたします。

厚生労働省の方から発表されている最新の数値が令和7年9月末時点のもので、こちらの方ご報告させていただきたいと思ひます。被保険者数は7,800人となっております。そのうち、マイナ保険証として登録されている方、こちらがですね、6,176人となっております。登録されています率で申しますと79.18%となっております。それを利用されてる方、こちら外来の受診ということに限定はされるんですけれども、78.55%の方がマイナ保険証で受診をされております。トータルでの

全国の平均がですね、45.26%ということになっておりますので、本市においては、3割以上、33%以上の方がそれ以上に使っていただいているということになっております。

参考としてですね、後期高齢者の方、こちらのことの状況もお知らせしたいと思います。

同じ厚労省も発表しているのです、同じく7年の9月末時点の数字になります。こちらはですね、被保険者数が6,463人となっております。マイナ保険証を登録されてる方、こちらは4,998人ということになりまして、登録されてる方の率というのは77.33%となります。実際に外来の方で利用されている方というのは54%となっておりますので、こちらも全国平均と比較して上回っているという状況になってございます。

説明は以上です。

○委員長（秋田谷建幸君） ほかにありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（秋田谷建幸君） ないようですので、議案第77号の質疑を終わります。

◎議案第78号の説明、質疑

○委員長（秋田谷建幸君） 議案第78号 令和7年度つがる市介護保険特別会計補正予算（第3号）案を議題とします。

説明を求めます。

島田健康福祉部長。

○健康福祉部長（島田安子君） 議案第78号 令和7年度つがる市介護保険特別会計補正予算案についてご説明いたします。

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ46万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ54億5,706万7,000円とするものでございます。

それでは歳出から先にご説明いたします。7ページをお開き願います。

1款1項1目一般管理費の10万6,000円の増額は、人件費の増加に伴うものでございます。

3款1項1目、介護保険財政調整基金積立金の11万円の減額は、積立予定額の調整に伴うものでございます。

4款2項2目任意事業費の扶助費47万1,000円は、家族介護自立支援事業の介護用品支給分が当初の見込みより伸びていることから増額するものでございます。

次に歳入をご説明いたします。6ページにお戻り願います。

3款2項国庫補助金の18万1,000円の増額及び5款2項県補助金の9万円の増額は、事業費の増加並びに過年度分交付金の再精算に伴うものでございます。

7款1項一般会計繰入金19万6,000円は、歳出における事務費、地域支援事業費に対応する市負担分を増額補正しております。

以上で説明を終わります。

ご審議のほどよろしく申し上げます。

○委員長（秋田谷建幸君） 説明が終わりました。

これより質疑を行います。ありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（秋田谷建幸君） ないようですので、議案第78号の質疑を終わります。

◎議案第79号の説明、質疑

○委員長（秋田谷建幸君） 議案第79号 令和7年度つがる市下水道事業会計補正予算（第3号）案を議題とします。

説明を求めます。

高橋建設部長。

○建設部長（高橋隆治君） それでは議案第79号 令和7年度つがる市下水道事業会計補正予算（第3号）案についてご説明申し上げます。

今回の補正は第3条において、資本的収入に907万5,000円を追加し、予算額の合計を8億4,599万9,000円とし、資本的支出に同じく907万5,000円を追加し、予算額を11億8,497万8,000円とするものでございます。

それでは、主な内容についてご説明いたします。7ページをご覧ください。

資本的支出において、稲垣地区下繁田処理施設の圧送ポンプ更新のため、工事請負費に907万5,000円を追加するものでございます。また上の表、資本的収入において、機器更新分の企業債発行額900万円を追加し、その下、他会計出資金に一般会計繰入金7万5,000円を追加するものでございます。資本的収入が支出に対し不足する額3億3,897万9,000円は、損益勘定留保資金等で補填するものでございます。

説明は以上となります。

ご審議のほどよろしく願いいたします。

○委員長（秋田谷建幸君） 説明が終わりました。

これより質疑を行います。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（秋田谷建幸君） ないようですので、議案第79号の質疑を終わります。

以上で本委員会に付託された議案の質疑を終結します。

◎議案第76号～議案第79号の討論、採決

○委員長（秋田谷建幸君） これより一括して討論を行います。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（秋田谷建幸君） ないようですので、討論を終結します。

これより、一括して採決します。

議案第76号から議案第79号までの4件は、原案どおり可決とすることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○委員長（秋田谷建幸君） ご異議なしと認め、ただいまの4件はいずれも原案どおり可決とすることに決定しました。

以上で本委員会に付託された議案の審査は全て終了しました。

お諮りします。本委員会の審査経過と結果報告については、委員長に一任願いたいと思いますが、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○委員長（秋田谷建幸君） ご異議なしと認め、そのように決定しました。

◎閉会の宣告

○委員長（秋田谷建幸君） 以上で本委員会の日程は全て終了しました。

よって12月8日月曜日は休会となります。

閉会にあたり一言ご挨拶申し上げます。

本委員会の開会中、委員各位には終始熱心なご審議を賜りまして厚くお礼申し上げます。また理事者各位におかれましても、審査の円滑な運営にご協力いただきましたことに対し、改めてお礼を申し上げます。誠に簡単ではございますが、ご挨拶に代えさせていただきます。

ありがとうございました。

これで予算特別委員会を閉会します。

（午前10時57分）

会議の経過を記載して、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和 年 月 日

委員長 秋田谷 建 幸